

# 討論

第1回定例会で審議された議案に対する議員の討論の概要をお伝えいたします。議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

## 市長提出議案

### 令和5年度一般会計補正予算(第11号) …可決

〔内容〕学校施設整備事業(白山小長寿命化改良事業、高井小増築等)、地籍調査事業、社会保障関係費増額等

入江議員…白山小学校長寿命化改良事業は、震災等有事の際にも児童の安全が確保されるもの。高井小学校増築事業は、児童数の増加から教室数の不足が懸念されており、増築工事を行うことにより、伸び伸びできる教育環境を提供できる。戸頭小学校と藤代南中学校のバリアフリー化事業は、誰もが支障なく学校生活を送れる環境形成が図られる。これらの事業は、児童生徒に安全安心な学校生活を提供するために必要。賛成。

古谷議員…老朽化している白山小学校をはじめ、高井小学校・戸頭中学校・藤代南中学校の各種事業は、全ての子どもが平等に学べる場を整備するものであり、教育の場である学校の整備事業は何よりも大切な事業。賛成。



白山小長寿命化改良工事イメージ図

### 取手市副市長定数条例の一部改正 …可決

〔内容〕副市長の定数を「1人」から「2人以内」に変更するもの

遠山議員…副市長が2名必要であるという点について、あまりにも唐突で納得できる十分な説明とは理解しがたい。市に必要なのは、災害が多発する中での消防職員と防災専門職員、また多忙な教育・保育所現場の職員、そうした職員不足の解消を図ることこそが求められる。反対。

金澤議員…市長が掲げている幾つもの重要な政策を強力に推進するために、それを特命として担う副市長を人選し2人体制にできるようにしていくことは、市の未来にとって非常に重要。賛成。

山野井議員…市長の業務は非常に多忙であり、市長が政策に集中できるよう人員を強化することは重要。賛成。

細谷議員…議会での物事の決め方は、十分根回しをしてやっていく場合、真剣勝負で突然提案する場合の両方の決め方がある。また人事については、大きな責任を持った市長がどう運営していくのか、全て市長の双肩にかかっており、市長の専権事項と受け止めている。遠山議員に反論。

遠山議員…より適材適所また有資格者、職員を配置する方が有効である。職員間での自由闊達な議論をしながら、行政運営を行うことが重要。細谷議員に反論。

細谷議員…遠山議員の討論に反論したが、反論したことに対する討論となっていない。遠山議員に反論。

## 令和6年度当初予算

### 令和6年度一般会計予算 …可決

〔内容〕「快適で利便性の高い都市空間づくり」「魅力の創造と発信」「未来をつくる世代を育むまちづくり」「健康でいきいきとした社会の実現」「安全安心なまちと未来を見据えた環境整備」「持続可能な地域社会の構築」の6つを基本方針として、市民生活を守り、取手市のさらなる発展を目指すもの

遠山議員…当初予算案の規模は過去最大。市の経済状況を見ても、大手企業の業績回復はあるものの、中小企業の経営回復には至っていない。子育て環境の整備や地域公共交通、災害に強いまちづくり、農業政策の拡充、食料自給率の向上、住宅政策など、市民の厳しい暮らしの状況や願いに応えたものになっていない。反対。

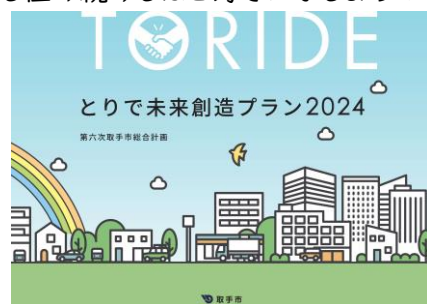
長塚議員…出産・子育て・教育環境の充実したまちづくりこそが、取手市に住み続けたい、新たに住みたいと感じていただくために必要であり、喫緊の課題である少子高齢化の一助になる。こども計画策定、保育施設入所の手続等オンライン化事業、環境プログラムの拡大など、本予算は、子育て環境を充実し、選ばれるまち、住み続けるほど好きになるまちを目指したもの。賛成。

杉山議員…次世代を担う若年層の方々に住み続けてもらうためには、地域経済の活性化を図り、新たな雇用やにぎわいを創出することが不可欠。創業支援を拡充し社長塾が開催されること、桑原周辺地区の大型商業施設の誘致を核とした土地地区画整理事業の検討など、効果的な予算編成がなされている。賛成。

根岸議員…自治体間での生産年齢人口の取り合いが熾烈になっていく。選ばれるまちとして市が生き残っていくための大事な予算。課題も残るが、何よりも子育てしやすいまちづくりの方針をしっかりと打ち出し、予算配分したことを評価。行政が一丸となり、こどもまんなか社会の実現につながる。賛成。

久保田議員…こども政策室の設置による子育てしやすい環境づくりの推進、魅力ある都市空間づくりとしての取手駅西口への図書館を核とした複合公共施設の設置方針、防災ラジオの推進など災害時への備え、AIやICTを活用した市民サービスの向上などデジタル化の推進をはじめとして、安全・安心な市民生活を維持し、活力ある取手市を目指すことを期待。賛成。

海東議員…これからの担う若い世代からも選ばれるまちであることが重要。こども計画策定事業は、子どもたちの健やかな成長と子育て世代が安心して暮らしていけるまちづくりにもつながり、市が掲げる住み続けるほど好きになるまちの実現にも寄与するもの。限られた財源の中で、行財政運営の継続性に配慮し、未来の取手市のさらなる発展を目指した予算編成であることを高く評価。賛成。



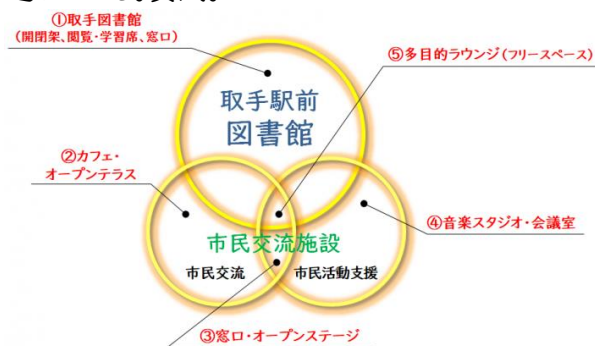
とりで未来創造プラン2024の表紙

## 令和6年度取手駅西口都市整備事業 特別会計予算 …可決

〔内容〕取手駅北土地地区画整理事業に関する工事請負費及び補償、補てん及び賠償金、取手駅北地区建築物整備事業に関する市街地再開発事業等補助金など

加増議員…取手駅北地区建築物整備事業に要する経費としての1億990万円の予算計上は、都市計画決定もされていない中、問題である。駅前だけを活性化することではなく、若者世代・子育て世代を増やし、高齢者も含めた全ての市民が安心して住み続けられる政策の充実が必要。駅前交通広場への税金投入を縮減し、A街区の再開発事業計画からは撤退すべき。反対。

落合議員…駅前交通広場の開通やA街区の使用収益開始に向けた造成工事などが行われる。また、取手駅西口駅前に図書館を核とした複合施設の整備を目指すとの未来予想図が示され、持続可能な都市空間づくりは市全体に活力を及ぼすものと期待される。快適で住みやすい都市の実現を着実に推進している。賛成。



取手駅西口に整備を目指す複合公共施設の機能イメージ図

### 令和6年度競輪事業特別会計予算 …可決

〔内容〕車券発売収入、競輪事業費など

染谷議員…令和5年度の繰出金は6,000万円と、市にとって大きな財源を生み出す施設であり県内唯一の自転車競技施設である。また、競輪場は、児童生徒の授業、職場体験や部活動、サイクルアートフェスティバル、消防団の訓練会場、とりで利根川大花火の臨時駐車場、災害時の避難場所など、様々な形で活用されている。競輪事業は、スポーツの発展、社会的貢献の意義、そして税収の面からも市に必要。賛成。

根岸議員…競輪事業は、ギャンブル依存症の被害者を生む恐れがある。経済効果だけではなく負の側面についても調査検討すべき。また、インターネット投票による車券売上げが主であり、人生経験の浅い若年層が簡単に気軽に車券を購入できることにも問題がある。反対。

本田議員…競輪事業はギャンブルである以上、現在は黒字であっても、やはり収入は水ものであり、その収益を財源の

当てにすることは健全な財政運営にはならない。また、まちづくりの観点に立ってみても、本市のまちづくりの基本方針である、ぬくもりと安らぎに満ち、共に活力を育むまち取手とは相いれない。反対。



令和5年11月19日に開催されたサイクルアートフェスティバルのチラン(抜粋)

## 特別委員会を設置し、当初予算を審査

令和6年2月29日、第1回定例会の初日に、一般会計予算・決算審査特別委員会を設置しました。委員の構成は、次のとおりです。



委員長:佐藤 隆治 副委員長:山野井 隆  
長塚 美雪 古谷 貴子 杉山 尊宣 佐野 太一  
海東 一弘 久保田 真澄 関川 翔 遠山 智恵子

3月13日、14日、18日にわたって、令和6年度一般会計当初予算の委員会審査を行いました。令和6年度は、新たに策定した「とりで未来創造プラン2024」がスタートする年度であり、そこに定められている、まちづくりの基本方針を実現するために適正な予算となっているかを中心に、委員から詳細な質疑が行われました。



### 議会の構成が変わりました

3月6日、会派異動届が提出され、無会派議員だった岡口すみえ議員が創和会に加入しました。このため、創和会の構成員が9人から10人になりました。

### 選挙管理委員会委員・補充員選挙結果

令和6年第1回定例会において、選挙管理委員会委員・補充員の選挙を行い、下記の方々が当選しました。

#### 選挙管理委員会委員

あずま おさむ 東 修氏(取手) 河口 優子氏(宮和田)  
落合 伊佐男氏(取手) 松井 秀子氏(双葉)

#### 選挙管理委員会補充員

あきら はじめ 海方 亨氏(東) 飯塚 肇氏(下高井)  
幸田 英夫氏(下萱場) 野口 裕一氏(中田)

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」

検索



取手市議会だより「ひびき」第251号 (令和6年4月15日発行) 一般質問ページへの二次元コード